



F o r e s t 通 信

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター No.308

巻頭 photo 高尾山の生きものたち

ツマグロヒョウモン(タテハチョウ科)

これは10月初旬に小仏川土手のヒガンバナで交尾中のツマグロヒョウモンのカップルです。

このチョウは従来暖かい地方に生息していましたが、温暖化や食草となるパンジーなど園芸品種が各地で植栽され、それに魅(ひ)かれて北上して来たと言われていいます。

関東南部には1990年代に出現。確かに約20年前に、このチョウを初めて見た時「なんだ、このチョウは！」と驚いた記憶があり、今では普通に見る事ができるようになりました。果たして、これによいのでしょうか？



(写真・文 大作栄一郎氏)

いろはの森

センターでは、小学生を対象に森林教室を実施しています。9月には1週間に3校の森林教室を実施しました。

学校の規模は百から五十名程度ですが、百名規模になると、職員全員で対応しても行き届かない面が出てくるものですが、当センターには「FS高尾」と言う強い正義の味方が付いています。

FS高尾はセンター開催の「森林カレッジ」の参加体験者や森林ボランティアの興味のある方が「自然環境の保全・自然に親しむ活動・自然保護に関する啓発などの活動」を通じてボランティア活動を推進する目的で結成された団体で、センターでは森林教室の

サポートなどをいただいています。

FS高尾の会員は、人生経験が豊富で森林・林業への造詣が深いことから、森林教室では子ども達への適切なアドバイスや、疑問に的確に答えてくれたり、森林教室の安全面への気配も欠かさず、事故が起きないように森林教室を陰で支えています。

子ども達のために、弁当も足代も自前のボランティアでサポートいただいているFS高尾の皆様には、いつも感謝に堪えません。「本当にありがとうございます。」

蛇足ですが、FS高尾名物の「カミナリ親父」の大声は、最近の子ども達には新鮮に聞こえているのではないのでしょうか。(き)



高尾森林ふれあい推進センターは、皆さんが高尾山の自然に親しみ、森林や林業に理解を深めるための諸活動を行っています。

森とでんえん倶楽部 魚取りと植物観察

近頃、子ども達は外で遊ぶことが少なくなっています。森とでんえん倶楽部では、高尾森林ふれあい推進センターの協力を得て、高尾山日影沢キャンプ場で体験活動を始めて10年になります。開始以来、自然に親しみ、「魚取りと植物観察」、「草木染と植物観察」、「ハイキングと植物観察」などの体験に取り組んでいます。各イベントは、小学生の親子が対象で、技術指導は森林インストラクターが行います。

「魚取りと植物観察」は、夏休みの間に行うことから、とても人気が高いため、今年度は8/2(土)・3日(日)の2日間、それぞれ50名ほどに参加いただき開催しました。



ムササビ体操！



葉の特徴を覚えよう

魚取りは、日影沢キャンプ場に隣接する河川に魚を放し、これを参加者が手づかみし、捕った魚の命をいただくことを知ってもらいます。魚ざらいのお子さんも、イベントで食べる魚は美味しいと評判です。なお、河川の使用や魚づかみ等については、関係地方自治体の許可をいただいて開催しています。



魚はどこ？

植物観察は、季節に応じて、咲く植物の花や実を捜したり、臭いのする葉など特徴の有る植物を観察したり、ときには沢でカニを見つけるのも人気の一つになっています。最後に、「植物観察をして樹木博士になろう！」と題して、質問を出した葉っぱを捜すゲームを行い、木の名前やその特徴を知ってもらっています。

子どもの頃の体験が大人になって、どんな形で花が咲くか楽しみです。



どんぐりかぶと虫相撲

(写真・文 森とでんえん倶楽部代表 横山信明氏)

森林教室

北 区 立 滝 野 川 小 学 校

9月16日(火)、都内北区から滝野川小学校5年生101名が森林ふれあい館にやってきました。今回、森林教室初参加の滝野川小学校。普段山に入る機会の少ない子どもたちは見るもの触るものみな新鮮のようです。

午前中はパワーポイントを使った森林環境についての講義を受け、丸太切りを体験しました。1枚、2枚と切る回数を重ねるにれ、慣れない手つきがしっかりしたものになり、終了間際にはベテランの丸太切り職人が多数誕生していました。

午後は高尾山散策です。狭い山道を慎重に歩き、

目にとまる植物の疑問点などを引率の職員やFS高尾スタッフに質問していました。

そして森林散策から戻った子どもたちにサプライズが！事前に捕まえておいた巨大ミミズです。悲鳴を上げる子や平気で触る子など、最後まで驚きの連続の森林教室を楽しんでもらえたようです。

ミ 大
ミ き
ズ い
だ
...



森林教室

八 王 子 市 立 第 三 小 学 校

平成26年9月18日八王子市立第三小学校の生徒87名が森林教室を行いました。

森林学習では、リスが食べた松ボックリの残骸を「これは何でしょうか」と見せてみたところ「エビフライ」と大半が答えていましたが、中には「松ボックリ」と正解を出す子も数人いて教える側がおどろきました。更にヘビが脱皮した皮を回してみると、恐る恐るでしたが触って感触を確かめていました。

丸太切りでは、丸太を押さえる人、切る人が順番に各自の役割を果たしながら数枚切って持ち帰りました。

森林散策では、森林学習で学んだことを山を見ながら再度確認しました。やまびこを体験、サワガニの発見、大ミミズを触ったりしながら楽しく1日を過ごし無事帰路につきました。

抜 へ
け ビ
殻 の
！



森 林
様 観
子 察
の



森林教室

八 王 子 市 立 片 倉 台 小 学 校

八王子市立片倉台小5年生2クラス49名は、大平国有林の森林ふれあい館で森林学習、丸太切りや森林観察などを9月19日に体験しました。

午前には、森林学習の「カレンと不思議の森」のアニメと森林教室用パワーポイントによる座学と丸太切りを行いました。森林学習では事前に勉強してきた生徒が多く、指導に当たった職員もやりがいを感じていました。

丸太切りではいかに薄く切れるかを競いあって、自分の方が薄く切れたと太陽に照らしてはオレンジ色がきれいなどと喜びを分かち合っていました。

午後は、森林学習のおさらいで学習の歩道と大平林道沿いを森林観察して一日を終えました。

開校式での感想では、「丸太切りした木を使って図工で頑張ります」「森林や自然が私たちの生活に大切なことを学びました」などと、生徒から大変好評でした。

面 森
白 林
い っ
！ て



高尾山 秋の親子自然観察会



どんぐりや紅葉など秋の高尾の森を観察、楽しくハイキング、ネイチャービンゴゲームを行います。

と き 平成26年11月9日(日)
集 合 JR高尾駅北口改札前8:40(8:10受付開始)
解 散 小仏駐車場 15:00頃
行 程 JR高尾駅北口バス停～日影バス停～日影沢キャンプ場(開会式)～小仏城山東尾根～城山(昼食)～小仏峠～小仏駐車場(解散)

実 施 森林インストラクター東京会(高尾森林ふれあい推進センター協定イベント)

募集人員 小学生とご家族50名(未就学児童の参加はご遠慮ください。応募者多数の場合は抽選)

1人500円(バス代は別途自己負担)

参加費 リュックサック、昼食、飲物、敷物、筆記用具、雨具、保険証(写)、活動しやすい服装、歩きやすい運動靴、タオル、帽子、着替え、防寒具、手袋

備 考 雨天中止(小雨決行)

【申込方法】

往復ハガキの往信面に、参加者全員の①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)・年齢・性別④電話番号(中止などの緊急連絡用)⑤電子メールアドレス⑥このイベントを何でお知りになったか。返信面には、お申込者の宛名をご記入のうえ、高尾森林ふれあい推進センター「秋の高尾山親子自然観察会」係までお申し込みください。

★申込〆切 平成26年10月25日(土)必着



編集後記

三行編集後記による。今月はセンスが光る短縮版です。高尾の紅葉、今年は当たり年かも?とご近所の噂が...今から楽しみです。(ま)

職場体験学習

9月18日・19日の両日、八王子市立横山中2年生の3名(男子1、女子2)が当センターを訪れ、八王子私立第三小5年生と同市立片倉台小5年生の森林学習、丸太切りや森林観察などの森林教室の指導補助を2日間に渡って体験しました。

体験の中では、開校式での自己紹介から各イベントの写真撮影、森林学習でのシマヘビの抜け殻やリスが食べたマツボックリ(通称:エビフライ)回し、丸太切りの補助、森林観察での森林クイズ出題と解説など、職員やボランティアに混じって懸命に取り組んでいました。

職場体験を終えた感想には、「大人の立場で接することができた」「礼儀などを学べた」「コミュニケーション能力を上げたい」「自分が森林にできることを考え、行動に移したい」などと、一回りも二回りも大きくなって帰校しました。これからも様々なステージでの活躍に期待しています。



シマヘビの抜け殻回しの様子



森林クイズの様子

Forest通信 No.308

発行:高尾森林ふれあい推進センター
Forest通信へのご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター
〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1
TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

